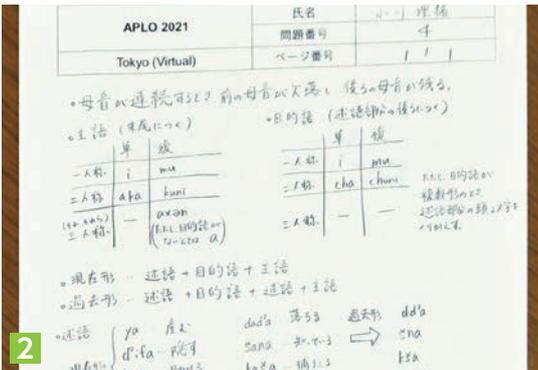


新たな挑戦でつかんだ
日本人2人目の快挙



1 アジア予選で出題された問題 2 小川さんが作成した解答

宇都宮女子高等学校 2年
小川 理緒さん

プロフィール

日本言語学オリンピック2021で金賞を受賞。さらに、第3回アジア太平洋言語学オリンピックで銅賞を受賞し、第18回国際言語学オリンピック日本代表に決定。

今年7月に、第18回国際言語学オリンピックがオンラインで開催されました。

言語学オリンピックは、中高生を対象に、さまざまな分野で開催されている科学オリンピックの1つで、アルファベットや記号のような文字が並んだ文章の法則を読み解き、その正答数などを競います。

日本予選やアジア大会を経て、日本代表8人の中の、唯一の女性メンバーとして選出された小川理緒さんは、日本人2人目となる「最優秀解答賞」を受賞。さらに総合成績では、上位10%の人に贈られる銀賞を受賞しました。小川さんは、大会を振り返り「緊張することなく楽しく取り組めた」と笑顔で話します。

大会で出題された問題は、ほとんど知られていないような言語。初めて見る言語について、いくつかの例文の共通点をヒントに作文や訳を行います。解答時間は6時間。とても長い時間のように思われますが、小川さんは「時間内にすべての問題を解き切ることは難しい。得意な問題を取りこぼさなかったことが今回の結果につながったと思う」と話します。言語学オリンピックの挑戦を決

めたきっかけは、同校の菊地敬子先生が、全校集会で紹介した問題を試しに解いたこと。「仮説を立て、検証を重ねて解くことがとても楽しかった」と、規則性を1つ見つけると、次々と解答ができるようになる言語学の魅力に引き込まれていきました。

この大会に向けて、過去の大会の出場者が作成した数多くの問題を解き、添削を受けながら知識を蓄えた小川さん。「もらった問題は、必ずすべて解くと決めて学習した」と学習材料が少ない言語を学ぶ環境を自ら整えました。

これまで努力を重ねてきた言語学の学習について「今まで触れた言語はほんの一握り。まだまだ世界中にあるたくさん言語を知りたい」と力強く話します。

また、言語学の他にも、百人一首やそろばんなどさまざまなことに挑戦し、多くの全国大会にも出場している小川さんは「たくさんさんの経験を積み、自分の得意なことを生かせるような新たな目標を見つけていきたい」と目を輝かせます。常に高みを目指し、挑戦を繰り返す小川さん。自分の可能性を信じ、まだ見ぬ未来を解き明かします。